

第6回

あん摩マッサージ指圧師・はり師及びきゅう師  
免許取得者の進路状況  
アンケート調査報告書

<要約版>

2021年10月実施

## 刊行にあたり

近年、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を取り巻く環境は、国の内外を問わず大きく変わりつつあります。高齢化が進み、保健医療福祉分野が成長戦略の柱と位置づけられる中で、あはき師のニーズ増大が期待されています。はり師きゅう師の累計免許取得者数は、20年前に比べ約1.8倍に増加、これに加えて、あはき業に関連する他の医療従事者数も年々増加しています。こうした状況の中で、あはき師養成施設を卒業した方々の進路および就業状況について把握することは、以前にも増してその重要性は高まっているものと考えます。

本調査は、あはき教育および学校運営の改善向上に資することを目的として、平成8年度に第1回目をスタートさせ、以来5年毎に実施し、今回が第6回目の本協会の主要事業の一つであります。

今年度の調査を実施するにあたりましては、平成24年度に本協会が公益社団法人に移行したことを考慮し、前回から非会員校にもアンケートへの参加を呼びかけており、今回は2校から参加の協力を得ることができました。

調査結果の詳細については各項に譲りますが、「全体の性別」の割合は、男女の比率がほぼ同じ割合となり、「年齢別」では調査回数を重ねるごとに平均年齢が上がっており、第1回目が32歳であったものが今回は38.4歳と6.4歳の上昇が見られます。「実務に従事の有無」では、前回調査では「有」が初めて80%を切りましたが、今回調査では80%を超えています。「実務に従事していない理由」を見ると、他業種へ勤務する者の割合が調査回数を重ねるごとに増となっています。「実務に従事している者」の勤務先では前回調査とほとんど変わらないものの、「病院・医院」の割合が減っており、「はりきゅう・柔整施術所」、「出張施術のみ・老人医療施設」が増加したことなどが特徴としてあげられます。調査参加校におかれましては、今後の教育カリキュラム検討、進路指導並びに新たな進路開拓等における資料としてご活用頂ければと存じます。

今回の調査結果につきましては、前回同様、ホームページ等を通じて広く発信し、業団体・学会等関係団体とともに、今後のあはき師の更なるニーズ拡大に向けた活動につなげていきたいと考えております。

終わりに、本調査にご尽力頂いた企画調整部をはじめ関係各位に感謝申し上げますとともに、会員校及び参加校のご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。

2022年3月

公益社団法人 東洋療法学校協会  
会長 清水尚道

# 目 次

刊行にあたり

公益社団法人東洋療法学校協会  
会長 清水尚道

	頁
第1編 調査の概要 .....	1
第2編 調査結果 .....	2
1. 調査対象者数と回答者数 .....	2
2. 調査結果の分析 .....	3
(1) 回答者の選択課程分布 .....	3
(2) 回答者の性別分布 .....	4
(3) 免許の種別 .....	5
(4) 免許の試験合格年次 .....	6
(5) 実務に従事の有無 .....	8
(6) 実務に従事していない理由 .....	10
(7) 開設・勤務状況 .....	11
(8) 開設時の免許取得年数 .....	13
(9) 勤務時の免許取得年数 .....	14
(10) 開設している施術所の種別 .....	15
(11) 勤務先の種別 .....	16
(12) 報酬または給与 .....	17
(13) 取扱患者の主な症状 .....	20
(14) 学会等の入会状況 .....	21
(15) 業界団体の加入状況 .....	23
資料編	
1. アンケート調査票 .....	25

## 第1編 調査の概要

### 1. 調査の目的

あん摩マッサージの指圧師、はり師及びきゅう師に関する法律（昭和22年12月20日法律第212号）の一部を改正する法律（昭和63年5月31日法律第71号）の施行に伴う新制度における学校・養成施設の卒業者が、国家試験に合格し、免許取得後どのような進路をとり、就職活動及び社会活動の場を選択しているか、進路状況アンケート調査を平成8年10月実施を第1回とし、以降5年毎に平成13年10月実施（第2回）、平成18年10月実施（第3回）、平成23年10月実施（第4回）、平成28年10月実施（第5回）、今年度第6回目のアンケート調査を行い、今後の学校教育・学校経営に資する基礎資料を得ることを目的とした。

### 2. 調査の対象及び調査客体

本調査は公益社団法人東洋療法学校協会加盟の会員校及び非加盟協力校卒業者で、平成29年から令和3年までの国家試験に合格し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の免許を取得した者（約9,700名）を調査対象者とし、転居先不明者等を除き、確認のできたものを調査客体とした。

### 3. 調査の実施方法

本調査は、当学校協会加盟のうち該当者のある会員校と非加盟協力校において、予め名簿（卒業年次ごとの氏名、住所など）を作成し、その名簿に基づき、各々の対象者宛に調査票を郵送して実施した。

### 4. 調査の実施期日及び調査票提出日

本調査の実施日は令和3年10月1日とし、調査票の提出は令和3年10月15日までとして返信用封筒により調査票の回収を行った。

### 5. 調査票及び同記入要領

資料編に添付のあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師免許取得者の進路状況アンケート票及び同記入要領のとおりである。

### 6. 調査及び集計・分析委託機関

この調査の企画立案は、公益社団法人東洋療法学校協会企画調整部と事務局が担当した。なお、調査票の集計・分析は外部に委託した。

## 第2編 調査結果

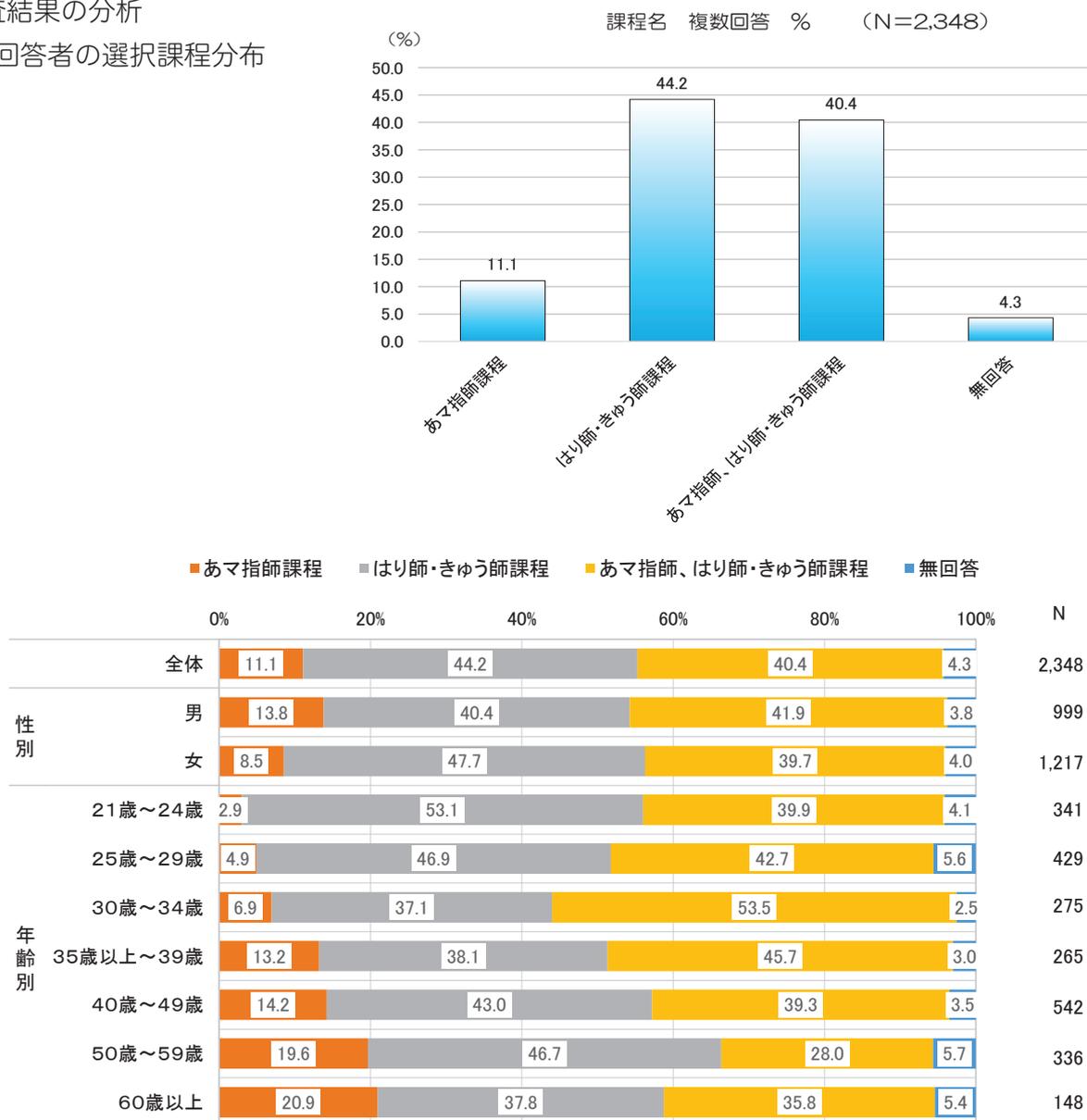
### 1. 調査対象者数と回答者数

調査対象者数は、実際に対象者宛の調査票送付が9,676件であった。転居先不明などの返戻分900件を除き、調査客対数は8,776件となり、回答数は2,348件（回答数27%）あった。

NO. 番号	学 校 名	調査対象者 (A)	転出先不明者数		調査客体数 (C) (A)-(B)	協力回答者数		無回答者数		備 考
			実数(B)	百分比 (B/A)		実数 (D)	百分比 (D/C)	実数 (E)	百分比 (E/C)	
1	北海道鍼灸専門学校	151	4	0.03	147	68	0.46	79	0.54	
2	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	105	9	0.09	96	33	0.34	63	0.66	
3	赤門鍼灸柔整専門学校	275	22	0.08	253	54	0.21	199	0.79	
4	呉竹医療専門学校	391	39	0.10	352	68	0.19	284	0.81	
5	東京医療専門学校	451	36	0.08	415	109	0.26	306	0.74	
6	東洋鍼灸専門学校	500	58	0.12	442	176	0.40	266	0.60	
7	東京医療福祉専門学校	227	13	0.06	214	60	0.28	154	0.72	
8	東京衛生学園専門学校	222	13	0.06	209	43	0.21	166	0.79	
9	日本鍼灸理療専門学校	669	78	0.12	591	153	0.26	438	0.74	
10	長生学園	336	3	0.01	333	135	0.41	198	0.59	
11	日本指圧専門学校	432	93	0.22	339	103	0.30	236	0.70	
12	国際鍼灸専門学校	153	2	0.01	151	45	0.30	106	0.70	
13	了徳寺学園医療専門学校	110	7	0.06	103	20	0.19	83	0.81	
14	日本医学柔整鍼灸専門学校	376	55	0.15	321	65	0.20	256	0.80	
15	日本健康医療専門学校	179	25	0.14	154	24	0.16	130	0.84	
16	東京メディカル・スポーツ専門学校	231	60	0.26	171	26	0.15	145	0.85	
17	新宿医療専門学校	185	25	0.14	160	33	0.21	127	0.79	
18	日本工学院八王子専門学校	99	14	0.14	85	7	0.08	78	0.92	
19	アルファ医療福祉専門学校	73	7	0.10	66	15	0.23	51	0.77	
20	お茶の水はりきゅう専門学校	4	0	0.00	4	4	1.00	0	0.00	
21	関東鍼灸専門学校	98	5	0.05	93	27	0.29	66	0.71	
22	湘南医療福祉専門学校	117	10	0.09	107	37	0.35	70	0.65	
23	呉竹鍼灸柔整専門学校	388	20	0.05	368	101	0.27	267	0.73	
24	神奈川衛生学園専門学校	216	1	0.00	215	54	0.25	161	0.75	
25	東海医療学園専門学校	139	5	0.04	134	40	0.30	94	0.70	
26	専門学校浜松医療学院	139	9	0.06	130	38	0.29	92	0.71	
27	専門学校中央医療健康大学校	41	5	0.12	36	8	0.22	28	0.78	
28	専門学校名古屋鍼灸学校	133	13	0.10	120	37	0.31	83	0.69	
29	中和医療専門学校	417	12	0.03	405	99	0.24	306	0.76	
30	京都仏眼鍼灸理療専門学校	219	15	0.07	204	74	0.36	130	0.64	
31	大阪行岡医療専門学校校長柄校	109	0	0.00	109	66	0.61	43	0.39	
32	明治東洋医学院専門学校	289	11	0.04	278	60	0.22	218	0.78	
33	関西医療学園専門学校	319	27	0.08	292	62	0.21	230	0.79	
34	森ノ宮医療学園専門学校	314	38	0.12	276	72	0.26	204	0.74	
35	履正社医療スポーツ専門学校	132	10	0.08	122	16	0.13	106	0.87	
36	大阪医療技術学園専門学校	100	2	0.02	98	20	0.20	78	0.80	
37	大阪ハイテクノロジー専門学校	128	15	0.12	113	26	0.23	87	0.77	
38	東洋鍼灸専門学校	222	48	0.22	174	43	0.25	131	0.75	
39	兵庫鍼灸専門学校	64	8	0.13	56	14	0.25	42	0.75	
40	IGL医療福祉専門学校	74	1	0.01	73	29	0.40	44	0.60	
41	朝日医療専門学校広島校	-	-	-	-	-	-	-	-	不参加
42	四国医療専門学校	273	25	0.09	248	60	0.24	188	0.76	
43	福岡医療専門学校	220	17	0.08	203	58	0.29	145	0.71	
44	鹿児島鍼灸専門学校	80	11	0.14	69	20	0.29	49	0.71	
A(会員校) 44校		9,400	871	0.09	8,529	2,302	0.27	6,227	0.73	
45	平成医療学園専門学校	238	18	0.08	220	33	0.15	187	0.85	
46	浦和専門学校	38	11	0.29	27	13	0.48	14	0.52	
B(協力校) 2校		276	29	0.11	247	46	0.19	201	0.81	調査対象
合計 46校		9,676	900	0.09	8,776	2,348	0.27	6,428	0.73	45校

## 2. 調査結果の分析

### (1) 回答者の選択課程分布



全体では、「はり師・きゅう師課程」が44.2%と最も多く、次いで「あま指師、はり師・きゅう師課程」が40.4%、「あま指師課程」が11.1%となった。

#### <性別>

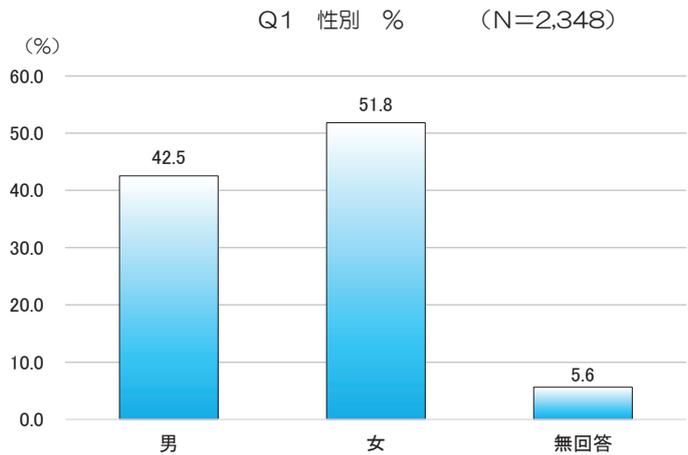
男性では、「あま指師、はり師・きゅう師課程」(41.9%)が最多となり、「はり師・きゅう師課程」(40.4%)、「あま指師課程」(13.8%)が続いた。一方、女性では、「はり師・きゅう師課程」(47.7%)が最も多く、「あま指師、はり師・きゅう師課程」(39.7%)、「あま指師課程」(8.5%)が続いた。

#### <年齢別>

「はり師・きゅう師課程」は21歳～24歳が53.1%と最多で、次いで25歳～29歳の46.9%、50歳～59歳の46.7%。「あま指師、はり師・きゅう師課程」は30歳～34歳が53.5%と最も多く、39歳までの若年化増の傾向がやや見られた反面、「あま指師課程」は60歳以上(20.9%)が最多で、50歳～59歳(19.6%)が続いた。

(2) 回答者の性別分布

全体では、前回の調査で男性が初めて過半数を下回ったが、今回は男性42.5%、女性が51.8%と初めて女性回答率が上回った。

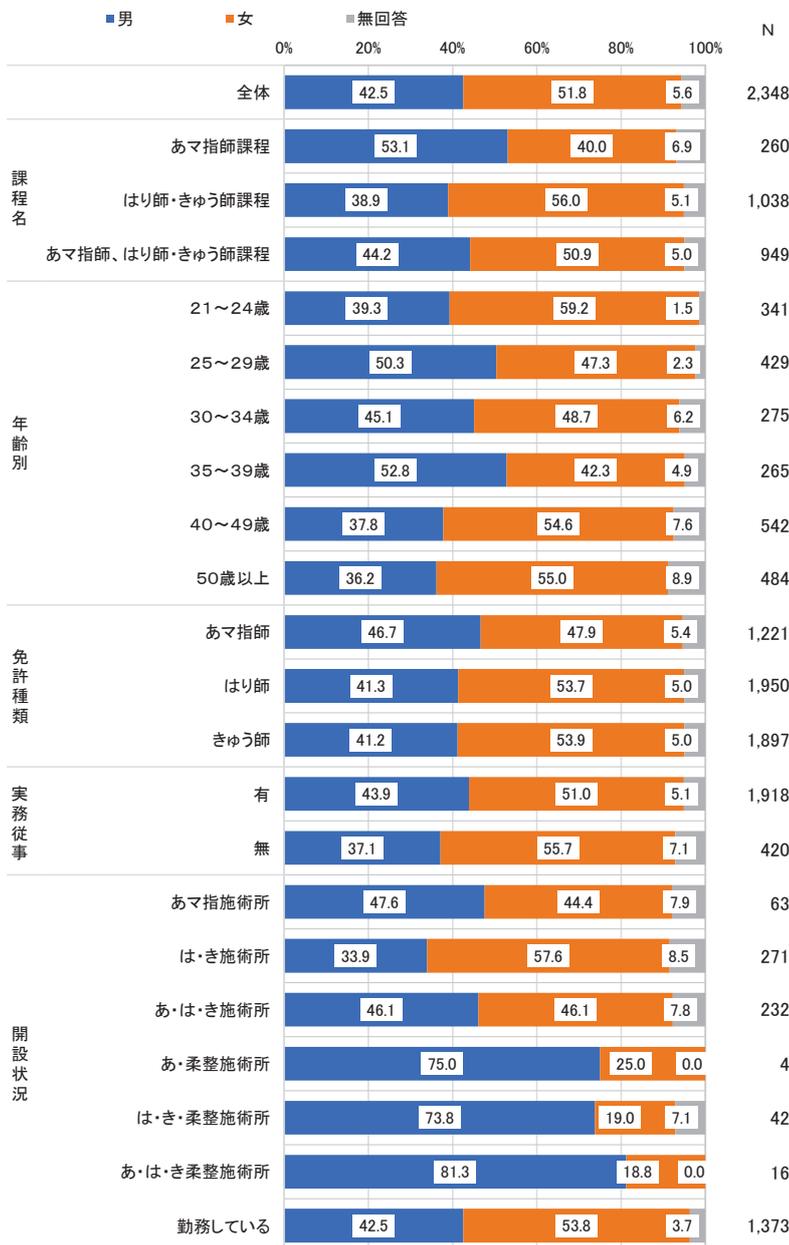


<課程名別>

「はり師・きゅう師課程」「あま指師、はり師・きゅう師課程」ともに女性比率が男性比率を上回った。

<年齢別>

男性比率が最も高いのは、「35～39歳」(52.8%)、次いで「25～29歳」(50.3%)。一方、女性比率では、「21～24歳」(59.2%)が最多で、次いで「50歳以上」(55.0%)、「40～49歳」(54.6%)と年齢層割合の二極化がややみられた。



<免許種別>

「あま指師」「はり師」「きゅう師」いずれも女性比率が男性比率を上回った。

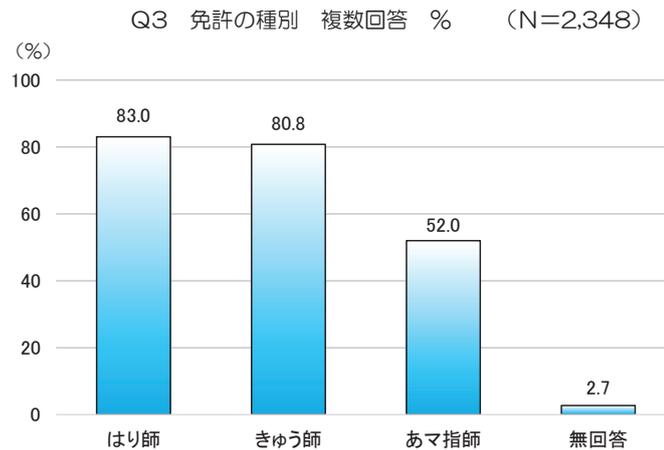
<実務従事比率>

実務従事有層は女性比率が51.0%、実務従事無層も女性比率が55.7%といずれも過半数超えて、男性比率を上回った。

<開設状況別>

開設している層では、「あ・は・き柔整施術所」(81.3%)、「あ・柔整施術所」(75.0%)、「は・き・柔整施術所」(73.8%)とも男性層が圧倒的に多い。女性層では、「は・き施術所」が57.6%と半数超えに。また、「勤務している」は、女性層(53.8%)が男性層(42.5%)を上回っている。

### (3) 免許の種別



全体では、はり師が83.0%と最多で、次いできゅう師が80.8%、あま指師が52.0%となった。

#### <性別>

女性は、はり師、きゅう師ともに男性より高いが、あま指師は男性が女性を上回った。

#### <年齢別>

はり師、きゅう師比率は、若年層ほど高くなる傾向があるが、40～49歳にいたってははり師比率が顕著に高かった。

#### <免許種別>

はり師は、きゅう師の資格を98.9%同時保有し、きゅう師ははり師の資格を96.3%同時保有している。また、あま指師は、はり師の資格を46.3%同時保有し、きゅう師の資格を46.8%同時保有している。

Q3 免許の種別 複数回答 %

	N	はり師	きゅう師	あま指師	無回答
全体	2,348	83.0	80.8	52.0	2.7
性別	男	80.6	78.2	57.1	2.2
	女	86.0	84.0	48.1	2.8
年齢別	21～24歳	91.5	87.4	44.3	2.1
	25～29歳	88.8	87.4	48.3	2.1
	30～34歳	86.9	84.7	60.7	2.9
	35～39歳	81.1	79.2	58.5	4.5
	40～49歳	120.7	77.1	53.7	2.4
	50歳以上	73.8	73.1	51.0	2.9
免許種類	あま指師	74.0	72.6	100.0	-
	はり師	100.0	96.3	46.3	-
	きゅう師	98.9	100.0	46.8	-

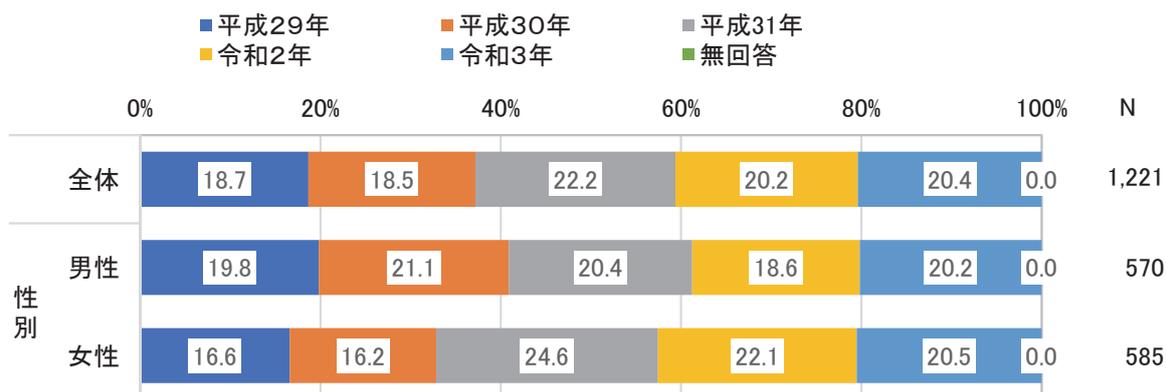
(4) 免許の試験合格年次

全体で、令和3年における調査年の占める割合は、アマ指師が20.4%、はり師が20.3%、きゅう師が20.6%となった。

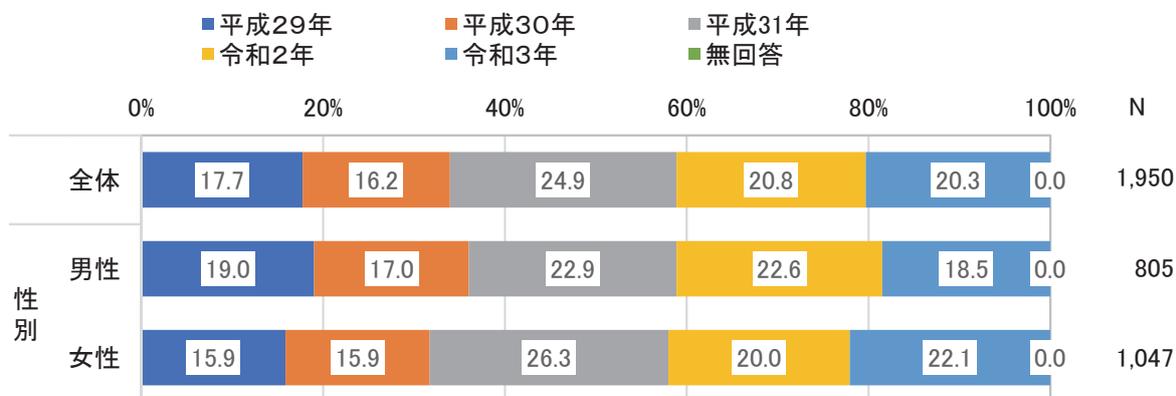
<性別>

アマ指師は、男女ともに構成比はほぼ同率。はり師、きゅう師においては、女性比率が男性比率を上回った。

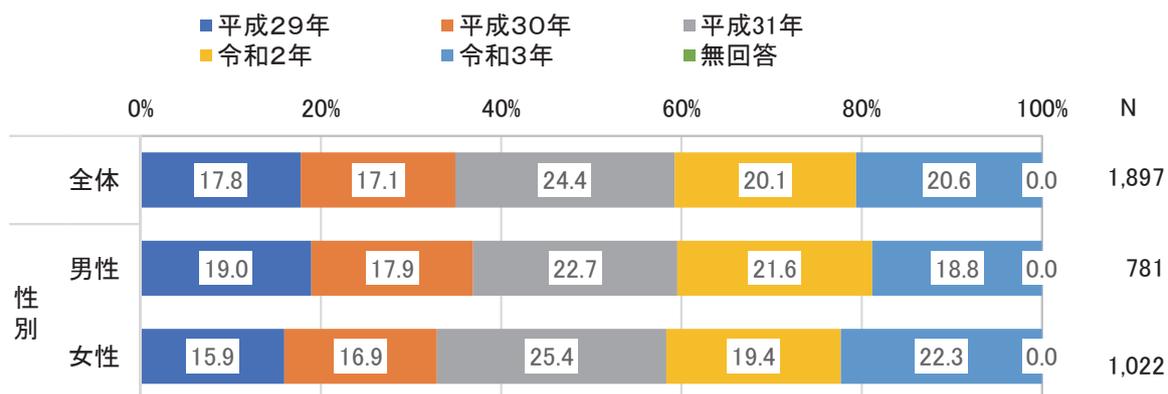
Q 3 試験合格年次 アマ指師 %



Q 3 試験合格年次 はり師 %



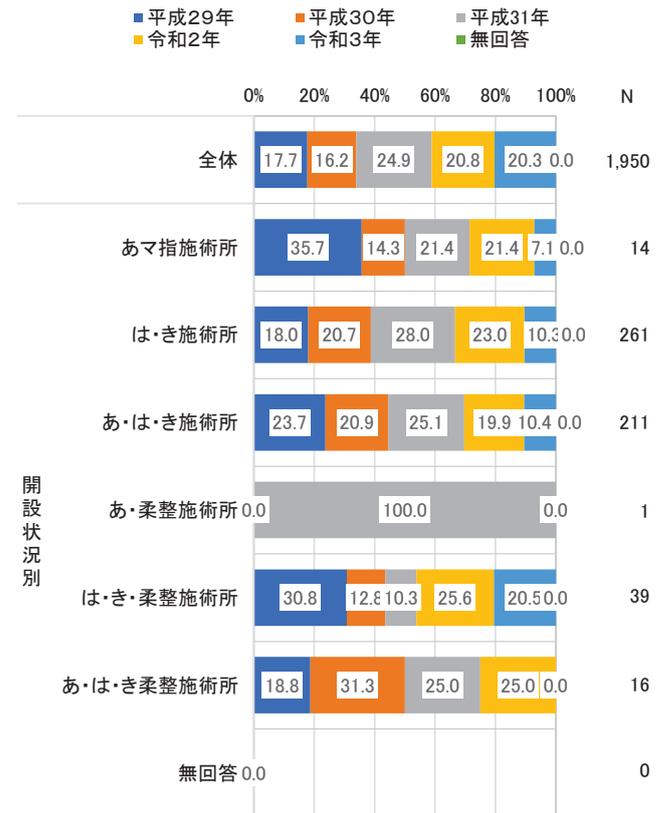
Q 3 試験合格年次 きゅう師 %



Q 3 開設者の試験合格年次 アマ指師 %



Q 3 開設者の試験合格年次 はり師 %

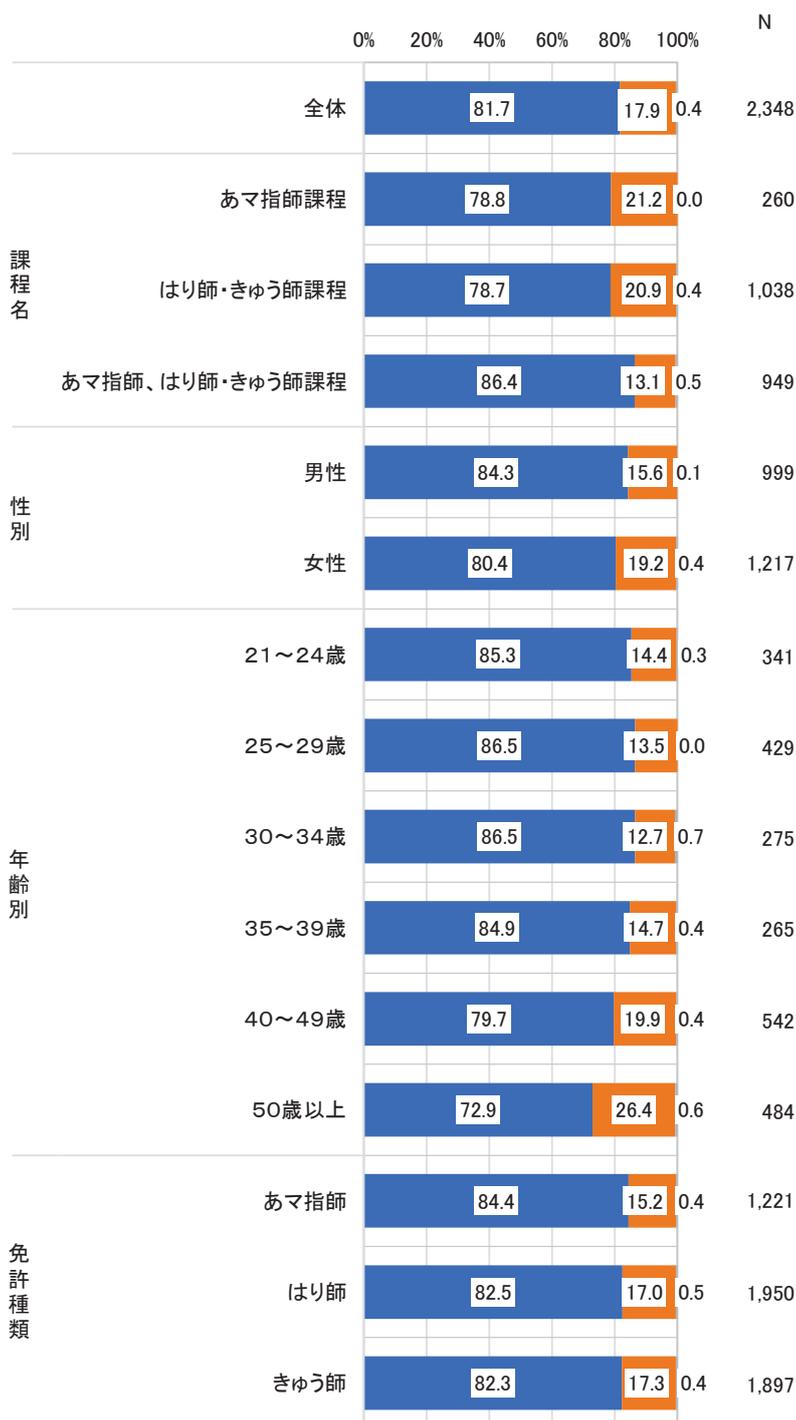
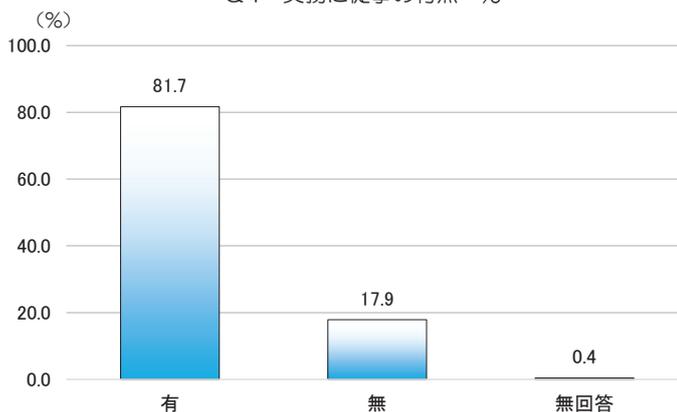


Q 3 開設者の試験合格年次 きゅう師 %



(5) 実務に従事の有無

Q4 実務に従事の有無 %



全体では、実務に従事の「有」が81.7%と大多数だった。一方で、「無」との回答は平成28年の調査をピークに増え続けていたが、今回は0.1%減となった。

<課程名別>

「あま指師、はり師・きゅう師課程」で「有」が86.4%と最多だった。

<性別>

「有」では、男性(84.3%)が女性(80.4%)を上回ったが、「無」は女性比率の方が高かった。

<年齢別>

25～29歳と30～34歳が「有」で86.5%と同比率で最も多く、次いで21～24歳(85.3%)、35～39歳(84.9%)と全体に高比率となっている。

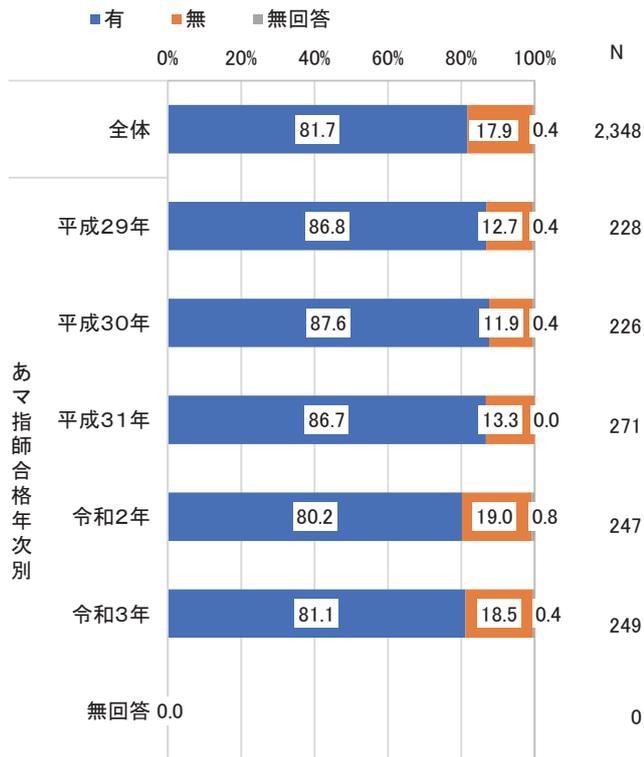
<免許種別>

「あま指師」が84.4と最多で、「はり師」(82.5%)と「きゅう師」(82.3%)が微差で続いている。

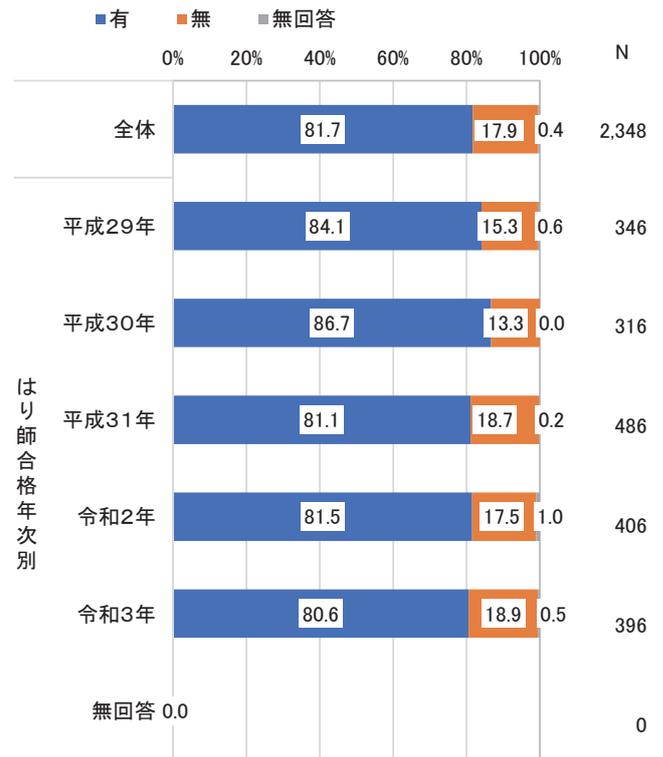
<合格年次別>

「有」の比率は、前年度に比べ「あま指師」は若干上がっているが、「きゅう師」(80.6%)は変わらず、「はり師」(80.6%)は減少した。

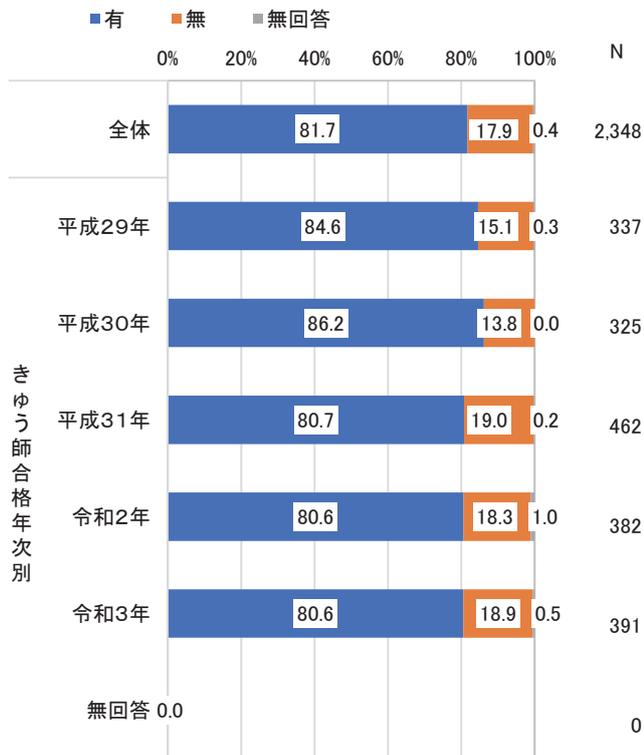
Q 4 実務に従事の有無 複数回答 %



Q 4 実務に従事の有無 複数回答 %

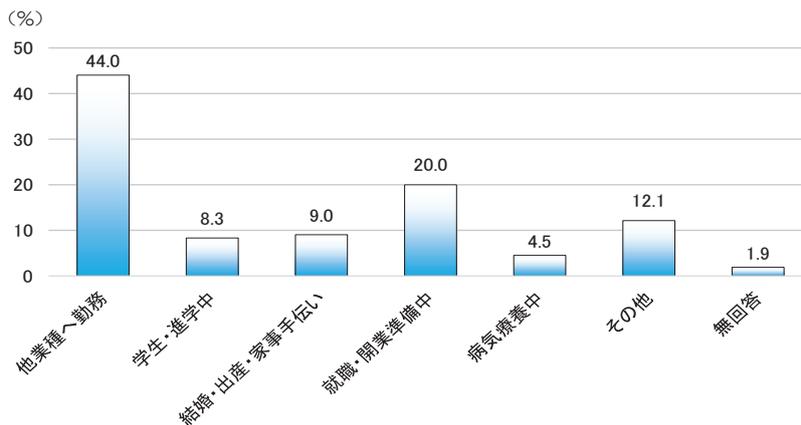


Q 4 実務に従事の有無 複数回答 %



(6) 実務に従事していない理由

Q4 実務に従事していない理由 複数回答 % (N=420)



Q4 実務に従事していない理由 複数回答 %

	他業種へ勤務	学生・進学中	結婚・出産・家事手伝い	就職・開業準備中	病気療養中	その他	無回答	
全体	420 44.0	8.3	9.0	20.0	4.5	12.1	1.9	
課程名	あま指師課程	55 45.5	3.6	3.6	23.6	9.1	14.5	0.0
	はり師・きゅう師課程	217 47.5	8.3	7.8	16.6	3.7	12.9	3.2
	あま指師、はり師・きゅう師課程	124 37.1	12.1	14.5	22.6	2.4	10.5	0.8
性別	男	156 49.4	10.9	0.0	21.2	3.8	12.8	1.9
	女	234 41.9	6.8	15.4	18.4	5.1	10.3	2.1
年齢別	21～24歳	49 34.7	20.4	6.1	22.4	4.1	12.2	0.0
	25～29歳	58 50.0	6.9	17.2	13.8	1.7	8.6	1.7
	30～34歳	35 31.4	8.6	34.3	8.6	2.9	11.4	2.9
	35～39歳	39 46.2	5.1	10.3	17.9	2.6	12.8	5.1
	40～49歳	108 58.3	5.6	5.6	15.7	3.7	10.2	0.9
50歳以上	128 35.2	7.0	2.3	29.7	7.8	15.6	2.3	
免許種類	あま指師	185 41.1	9.2	10.8	22.2	5.4	11.4	0.0
	はり師	332 44.3	9.0	9.9	20.2	3.3	11.1	2.1
	きゅう師	328 43.3	9.1	10.1	20.1	3.4	11.9	2.1

全体では、実務に従事していない理由として「他業種へ勤務」が44.0%と平成8年(27.8%)以降過去最多で、次いで「就職・開業準備中」20.0%が続いた。

<課程名別>

いずれの課程でも、「他業種へ勤務」が最も多いが、次いで多かったのが「就職・開業準備中」で、中でも「あま指師課程」は23.6%と多かった。

<性別>

「他業種へ勤務」が男性(49.4%)、女性(41.9%)と最も多く、次いで男女ともに「就職・開業準備中」が続いた。

<年齢別>

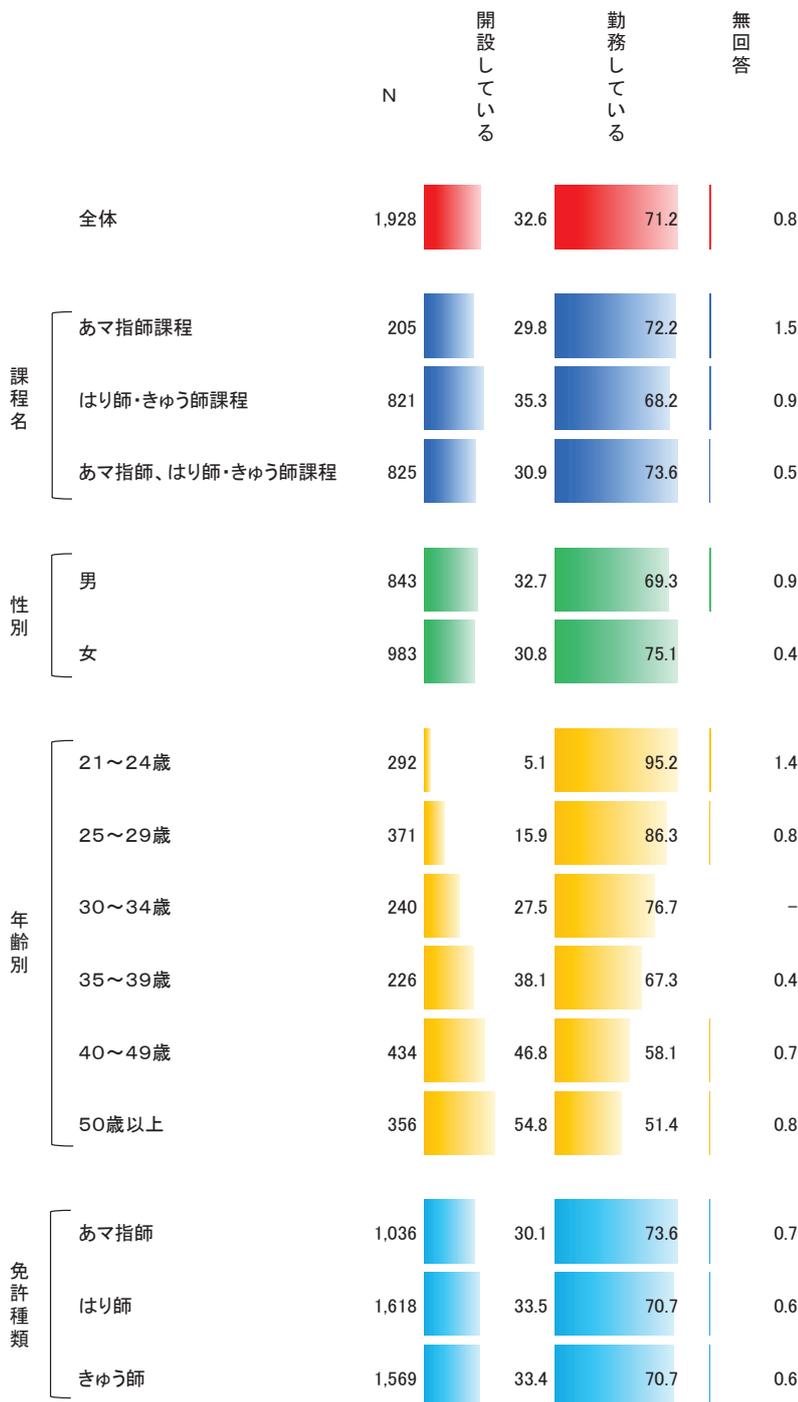
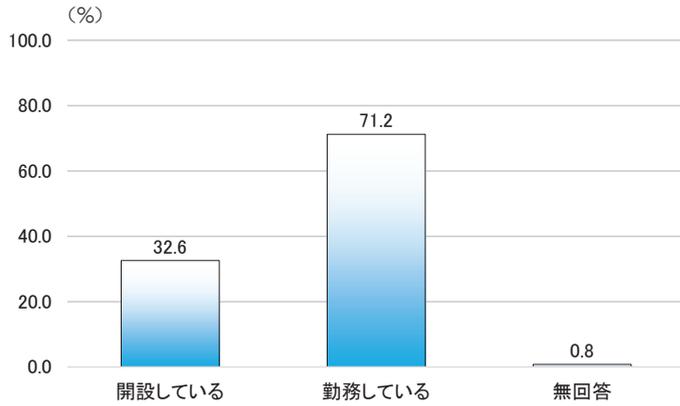
30歳～34歳では、「結婚・出産・家事手伝い」が34.3%と最多だったが、その他の年齢層では「他業種へ勤務」が最も多かった。

<免許種別>

いずれの免許種別でも、最も多いのが「他業種へ勤務」で、次いで「就職・開業準備中」となっている。

(7) 開設・勤務状況

Q4 開設・勤務の状況 複数回答 % (N=1,928)



全体では、平成 28 年まで伸び続けていた「開設している」が 32.6%と下がり、「勤務している」が 71.2%に伸びている。

<課程名別>

「開設している」は「はり師・きゅう師課程」が 35.3%と最も高い一方で、「勤務している」は「アマ指師、はり師・きゅう師課程」が 73.6%が最多となった。

<性別>

「開設している」は、男性が 32.7%、女性が 30.8%と僅か 2 ポイント差となっている。

<年齢別>

「開設している」は、ほぼ年齢が上がるにつれ高くなり、50 歳以上は 54.8%と半数超え。一方で「勤務している」は、年齢が若いほど割合が高くなっている。

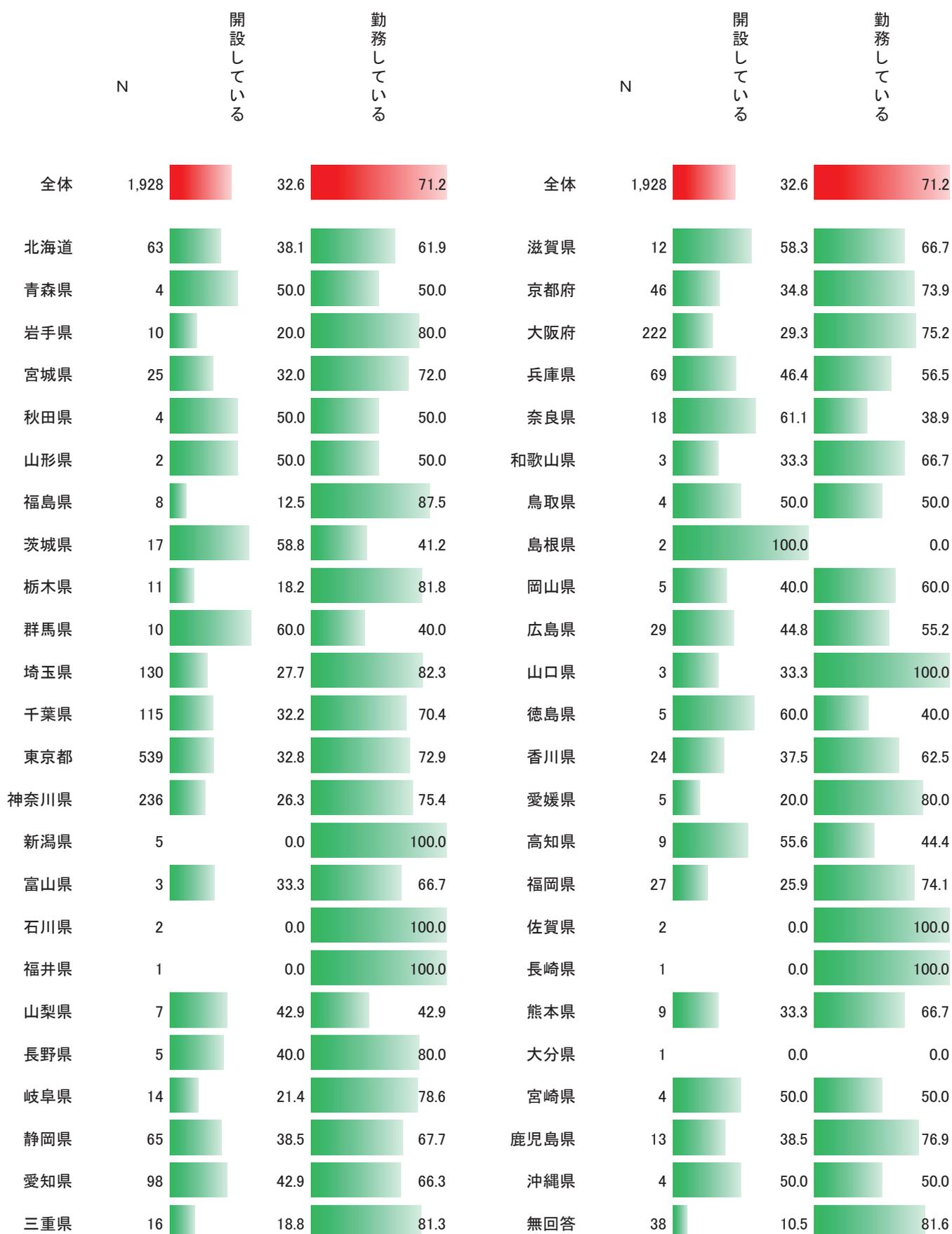
<免許種類別>

いずれも、「開設している」が 3 割強、「勤務している」が 7 割強だった。

<所在地別>

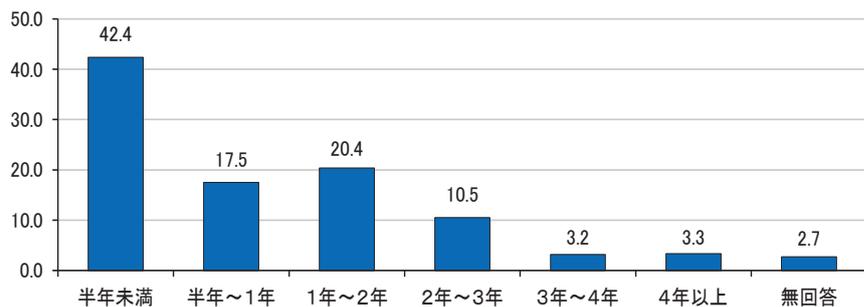
開設者または勤務者の所在地別の開設及び勤務比率は、次頁のグラフの通りである。

Q 4 開設・勤務の状況 所在地別 %



(8) 開設時の免許取得年数 (平成28年から新規設問)

全体では、「半年未満」が42.4%と最多、次いで「1年～2年」20.4%、「半年～1年未満」17.5%。上位3位は平成28年と同順位だが割合は増加した。



Q5 開設時の免許取得年数 %

■半年未満 ■半年～1年 ■1年～2年 ■2年～3年 ■3年～4年 ■4年以上 ■無回答



<課程名別>

いずれも、免許取得後「半年未満」での開設が最多で、「はり師・きゅう師課程」では「1年～2年」が23.4%とやや多い。

<性別>

「半年未満」は、男性46.7%、女性40.6%。「1年～2年」は女性比率の方が高かった。

<年齢別>

いずれの世代も「半年未満」が最多で、中でも「40歳～49歳」は48.8%と半数近かった。一方、「1年～2年」に開設した「21歳～24歳」は33.3%に上った。

<免許種類別>

「半年未満」は「アマ指師」(45.2%)が最多で、どの世代も同様の順位となった。

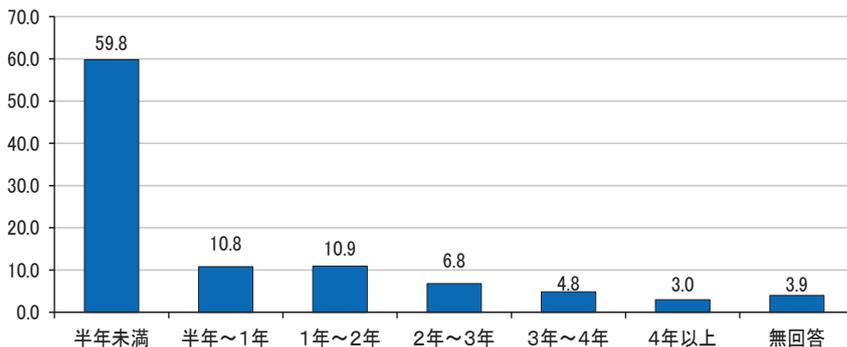
<開設状況別>

いずれの世代も「半年未満」が最も多く、中でも「アマ指施術所」が49.2%と高比率だった。「半年～1年」は、「あ・は・き柔整施術所」が31.3%と最多だった。

※「あ・柔整施術所」はN=4のため、上記比較からは除外した。

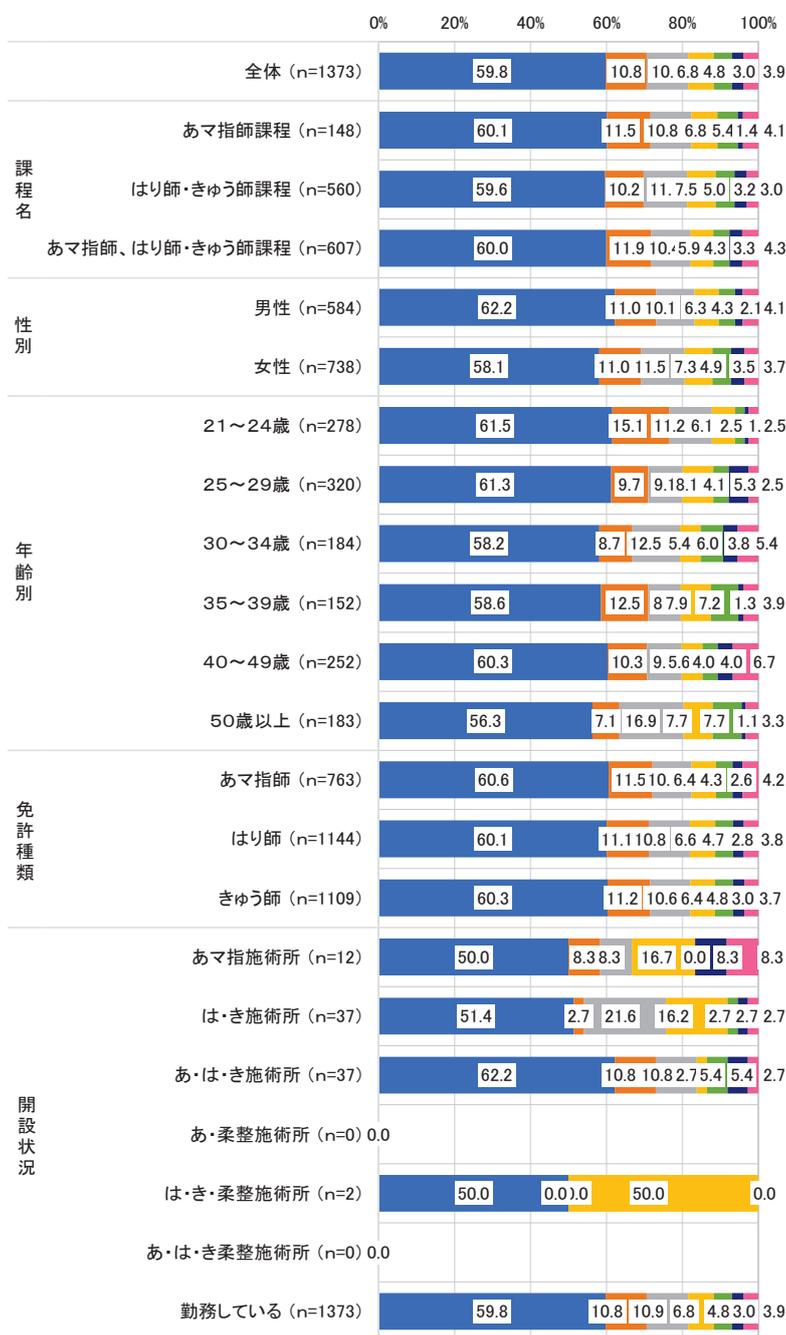
(9) 勤務時の免許取得年数 (平成28年から新規設問)

全体では、「半年未満」が59.8%と最多で、「1年～2年未満」10.9%、「半年～1年未満」10.8%が微差で続いた。



Q6 勤務時の免許取得年数 %

■半年未満 ■半年～1年 ■1年～2年 ■2年～3年 ■3年～4年 ■4年以上 ■無回答



<課程名別>

「半年未満」は、「アマ指師課程」が60.1%、0.1ポイント差で「アマ指師・はり師・きゅう師課程」60.0%が続き、「はり師・きゅう師課程」も59.6%と過半数以上が「半年未満」だった。

<性別>

「半年未満」の比率が、男性(62.2%)、女性(58.1%)だった。

<年齢別>

「半年未満」の比率は、「21～24歳」が61.5%と最多で、「25～29歳」(61.3%)、「40～49歳」(60.3%)と続き、他の年齢層も55%以上だった。

<免許種類別>

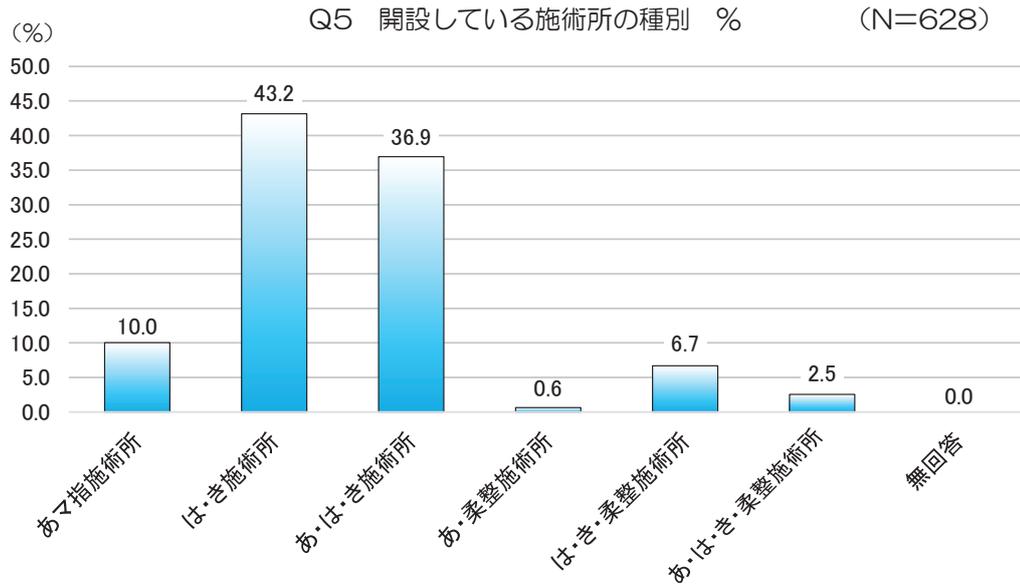
「アマ指師」が「半数未満」60.6%で、「きゅう師」(60.3%)、「はり師」(60.1%)が続いた。

<開設状況別>

「半年未満」が、「あ・は・き施術所」(62.2%)、「は・き施術所」(51.4%)、「アマ指施術所」(50.0%)といずれも半数以上となった。

※「あ・柔整施術所」「あ・は・き柔整施術所」はN=0、「は・き・柔整施術所」はN=2のため、上記比較からは除外した。

(10) 開設している施術所の種別



全体で最も多かったのが、平成13年から増加し続けている「は・き施術所」(43.2%)で、次いで「あ・は・き施術所」36.9%、大きく差をつけて「あま指施術所」が10.0%で続いている。

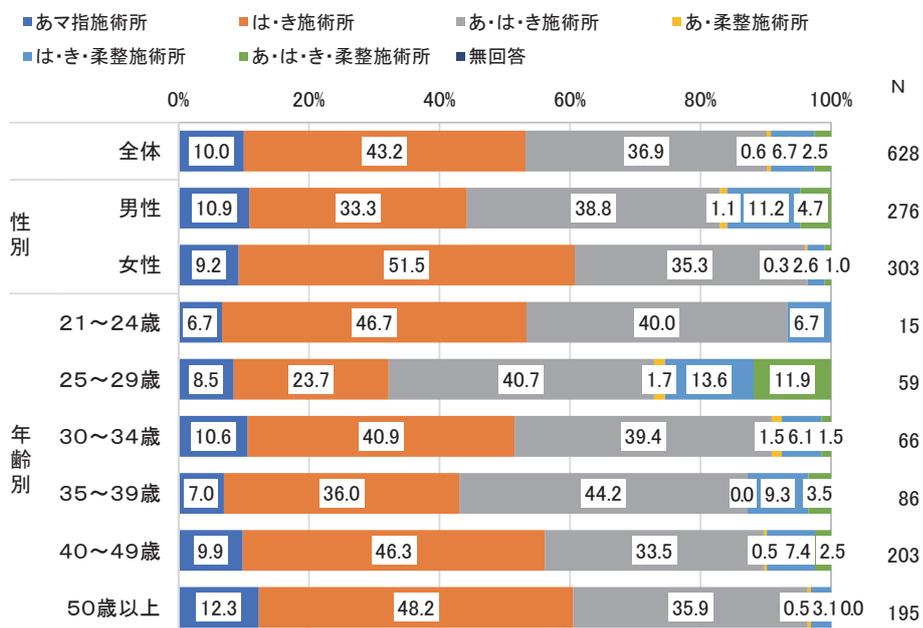
<性別>

女性は「は・き施術所」の比率が51.5%と高かった。一方、「あ・は・き施術所」は、男性が38.8%と、女性比率(35.3%)より高かった。

<年齢別>

「は・き施術所」は、「50歳以上」が48.2%と最も高く、「25～29歳」と「35～39歳」を除いた年齢層は40%台だった。一方で、「あ・は・き施術所」は、「35～39歳」の44.2%が最も高く、「25～29歳」の40.7%が後に続いた。「あま指施術所」は「50歳以上」が12.3%と最多だった。

Q5 開設している施術所の種別 %



(11) 勤務先の種別

全体では、「は・き・柔整施術所」が22.6%と最多。次に続くのが「出張施術のみ」16.4%、「あ・は・き・柔整施術所」15.9%、「あ・は・き施術所」10.4%で、それ以下は1桁台となった。

<課程名別>

「はり師・きゅう師課程」では「は・き・柔整施術所」が40.2%と多い。一方、「出張施術のみ」の勤務先をみると、「あマ指師課程」が36.5%、「あマ指師、はり師・きゅう師課程」が21.1%で、「介護保険施設（特養を含む）」では「あマ指師課程」が13.5%だった。

<性別>

男女ともに「は・き・柔整施術所」の割合が多い。次いで、男性は「出張施術のみ」、女性は「あ・は・き・柔整施術所」が多く、以下、順番の入れ替わりはあるが、男女ともに同様の傾向がみられた。

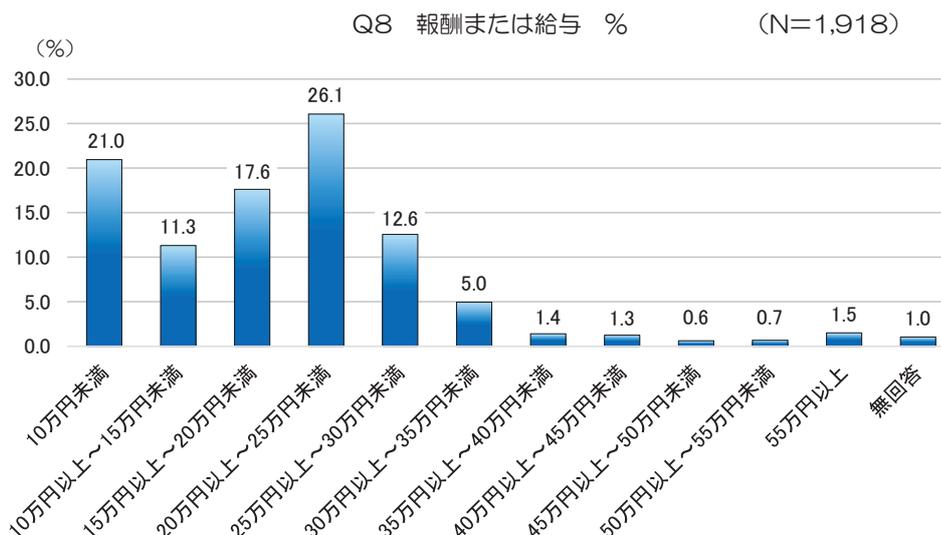
<年齢別>

「は・き・柔整施術所」は21～29歳に多くみられた。「出張施術のみ」は年齢層が高いほど多めで、中でも「35～39歳」がやや多めだった。「病院・医院」「介護保険施設（特養を含む）」は「50歳以上」に多めだった。

Q 6 勤務先の種別 複数回答 %

	N	あ マ 指 施 術 所	は ・ き 施 術 所	あ ・ は ・ き 施 術 所	あ ・ 柔 整 施 術 所	は ・ き ・ 柔 整 施 術 所	あ ・ は ・ き ・ 柔 整 施 術 所	出 張 施 術 の み	病 院 ・ 医 院	介 護 保 険 施 設 （ 特 養 を 含 む ）	ス ポ ー ツ ク ラ ブ	リ ラ ク ゼ ー シ ョ ン ・ S P A 等 施 設	会 社 な ど の 福 利 厚 生 医 療 施 設	あ ・ は ・ き 師 専 門 学 校 ・ 大 学 の 教 員	そ の 他	無 回 答	
全体	1,373	2.7	9.2	10.4	0.4	22.6	15.9	16.4	7.8	5.1	0.7	2.5	0.6	0.7	4.0	1.1	
課程名	あマ指師課程	148	15.5	-	8.1	2.0	-	6.1	36.5	4.7	13.5	0.7	4.7	0.7	-	6.1	1.4
	はり師・きゅう師課程	560	-	16.3	4.5	-	40.2	11.1	7.0	8.8	3.6	0.7	2.3	0.5	1.1	3.2	0.9
	あマ指師、はり師・きゅう師課程	607	2.1	4.4	16.6	0.3	11.4	22.7	21.1	7.7	4.6	0.7	2.5	0.5	0.2	4.3	0.8
性別	男性	584	3.8	5.1	8.0	0.3	25.7	15.4	17.3	8.0	4.8	0.9	3.1	0.9	1.0	4.3	1.4
	女性	738	1.6	12.6	12.1	0.4	20.6	16.1	15.3	7.5	5.6	0.5	2.3	0.3	0.4	3.8	0.9
年齢別	21～24歳	278	0.7	9.7	7.6	0.4	36.0	19.4	7.9	5.4	3.2	0.4	3.2	1.4	0.4	3.2	1.1
	25～29歳	320	2.2	7.2	5.9	-	33.8	20.3	10.6	6.3	4.1	0.6	1.9	0.9	0.6	4.7	0.9
	30～34歳	184	2.7	11.4	11.4	-	16.3	16.8	19.0	8.7	4.3	0.5	1.6	-	1.1	5.4	0.5
	35～39歳	152	4.6	11.2	11.8	1.3	17.1	12.5	24.3	9.9	0.7	0.7	2.0	-	-	3.3	0.7
	40～49歳	252	2.8	9.5	13.9	0.4	11.9	11.9	23.4	8.7	7.1	1.2	4.0	-	0.8	3.2	1.2
	50歳以上	183	4.9	8.2	15.3	0.5	8.2	10.4	20.2	10.4	10.9	0.5	2.2	0.5	1.1	4.4	2.2

(12) 報酬または給与



全体では、報酬または給与平均月額が「19.2万円」となり、平成13年(20.1万円)、平成18年(21.0万円)、平成23年(20.4万円)、平成28年(20.0万円)から減少している。「20万円以上～25万円未満」が平成13年以来変わらず最多で、今回26.1%に増。また、増加し続けてきた「10万円未満」がさらに21.0%に増えている。

<開設・勤務別>

平均月額は、開設している層が17.9万円、勤務している層が19.7万円となった。

<性別>

平均月額は、男性が21.6万円、女性が17.3万円だった。

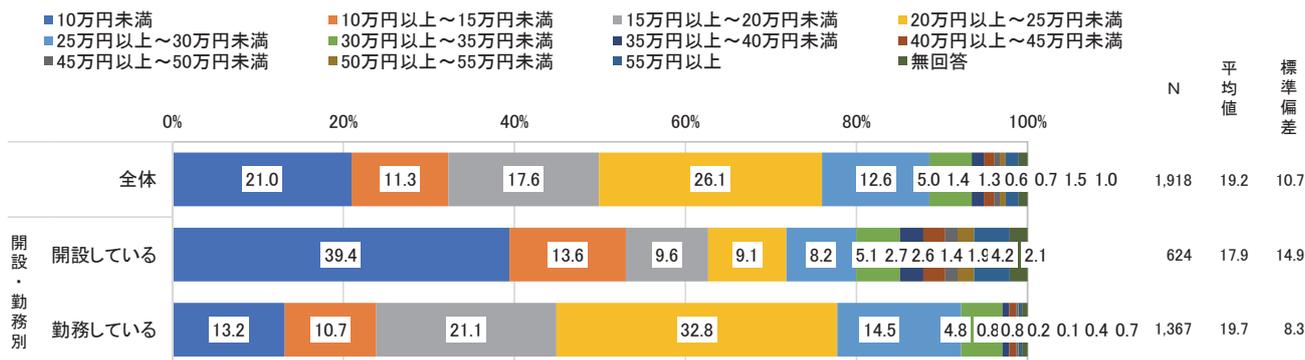
<年齢別>

平均月額を年齢別にみると、25～29歳が22.3万円と最も多く、次いで35～39歳の21.9万円、30～34歳の21.6万円となった。一方で、40歳以上から「10万円未満」の割合が増え、50歳以上の平均月額は12万円となっている。

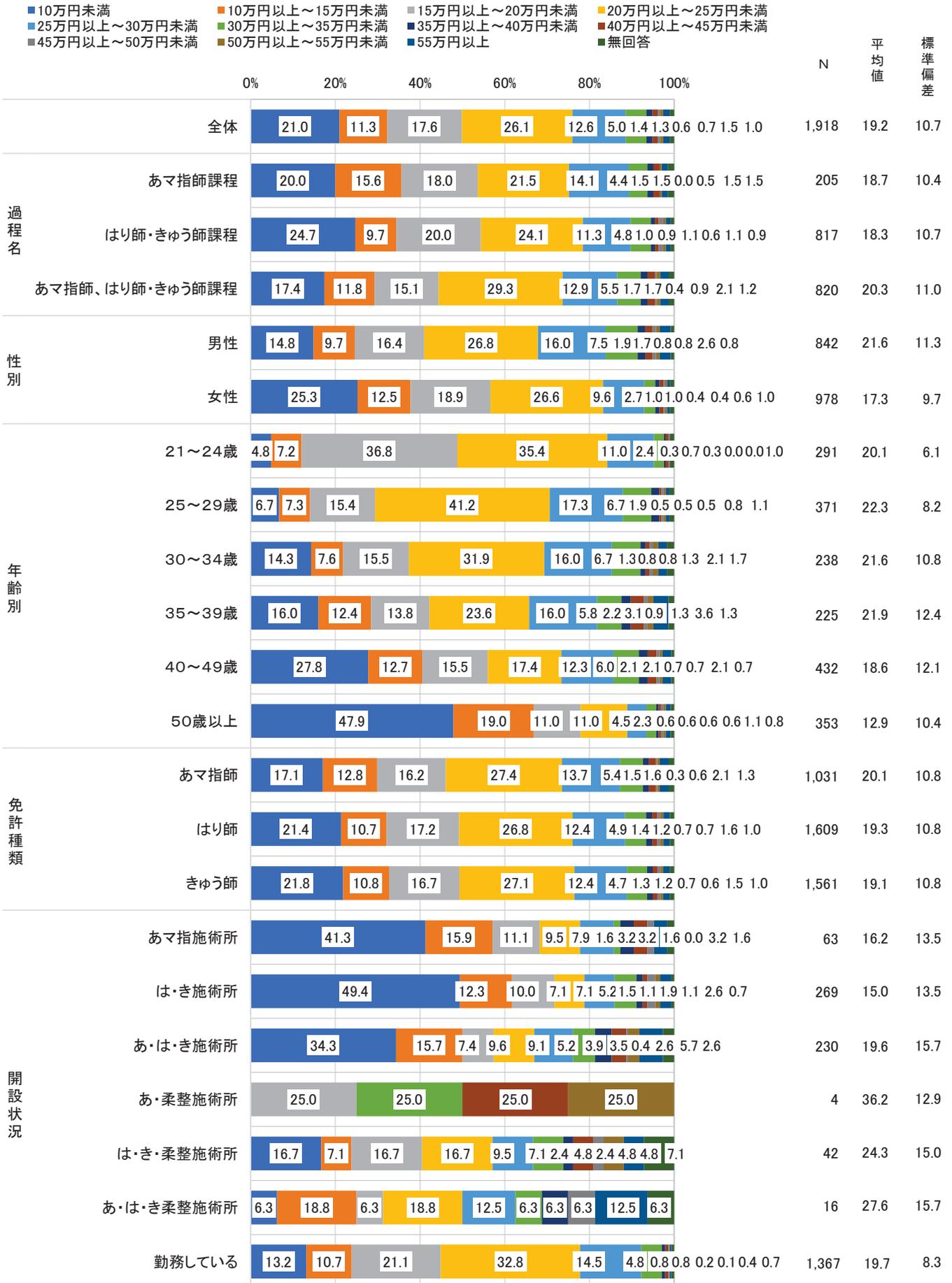
<開設状況別>

平均月額は、「あ・は・き柔整施術所」が27.6万円、「は・き・柔整施術所」が24.3万円だが、他は20万円を切っている。※「あ・柔整施術所」はN=4のため、上記比較から除外した。

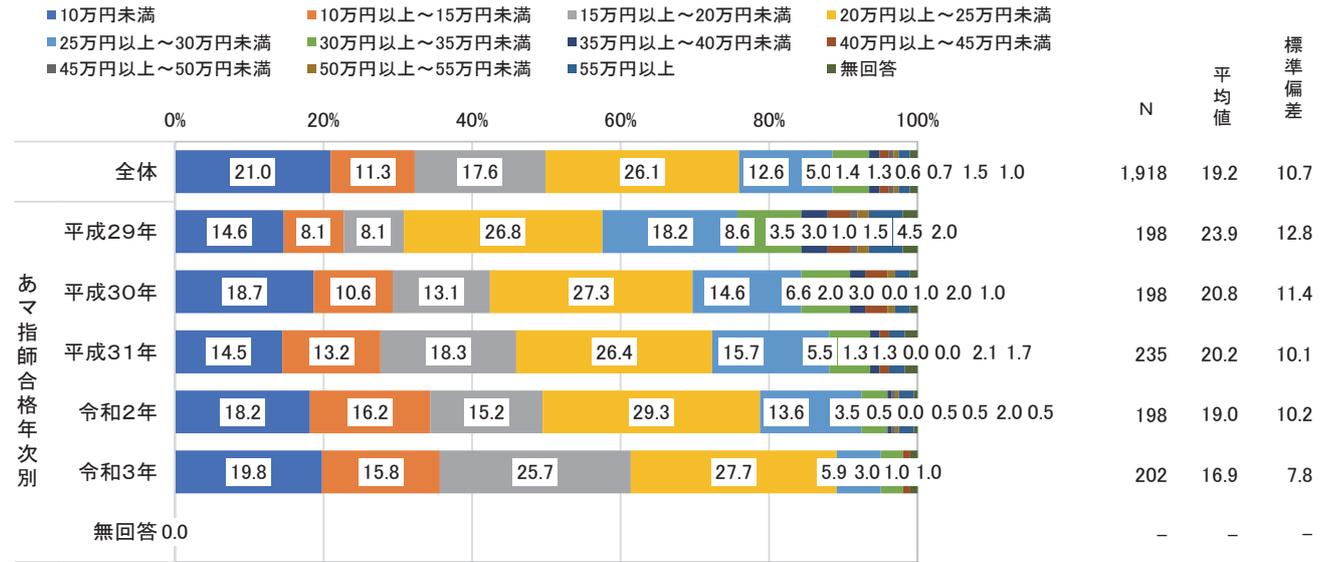
Q8 報酬または給与 %



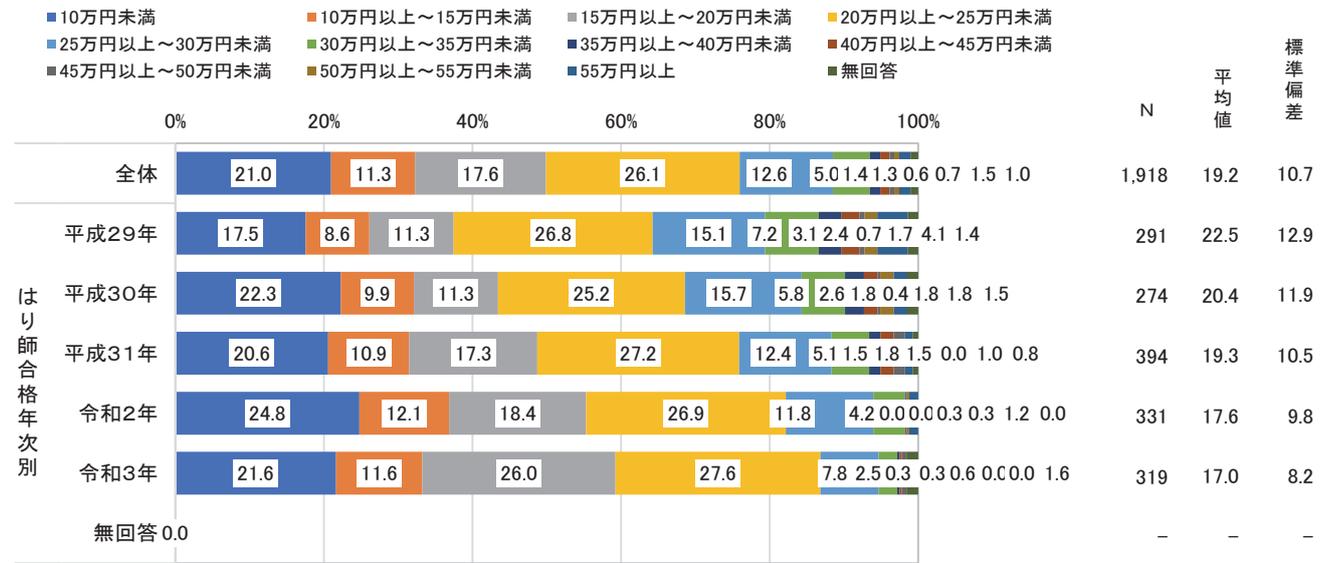
Q8 報酬または給与 %



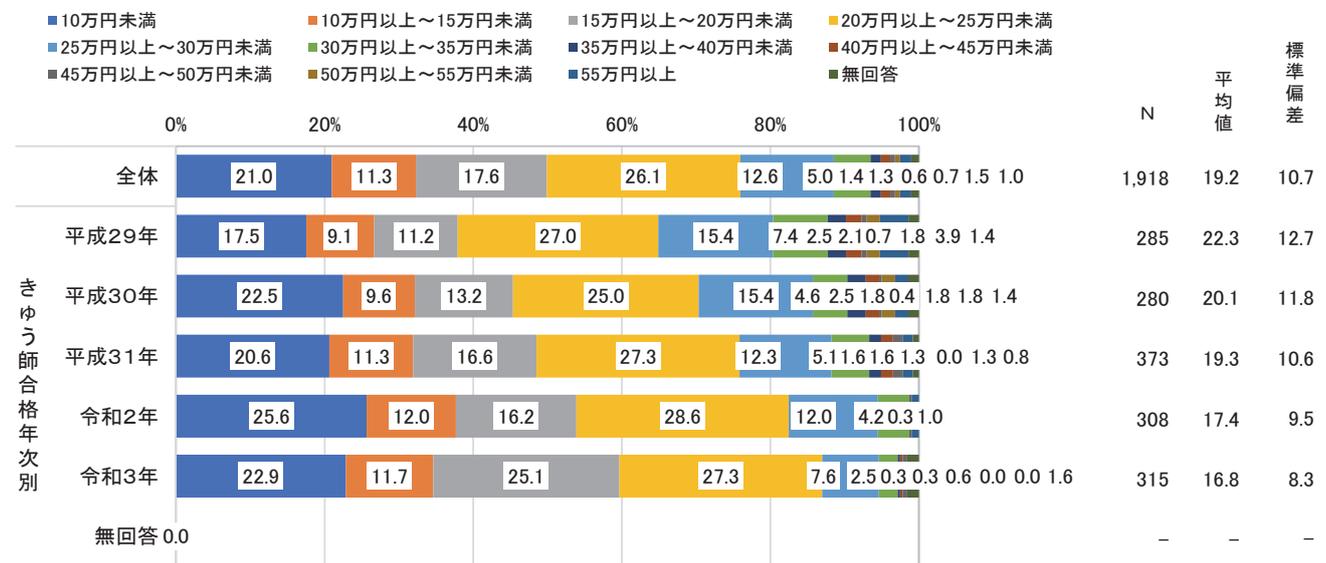
Q 8 報酬または給与 %



Q 8 報酬または給与 %

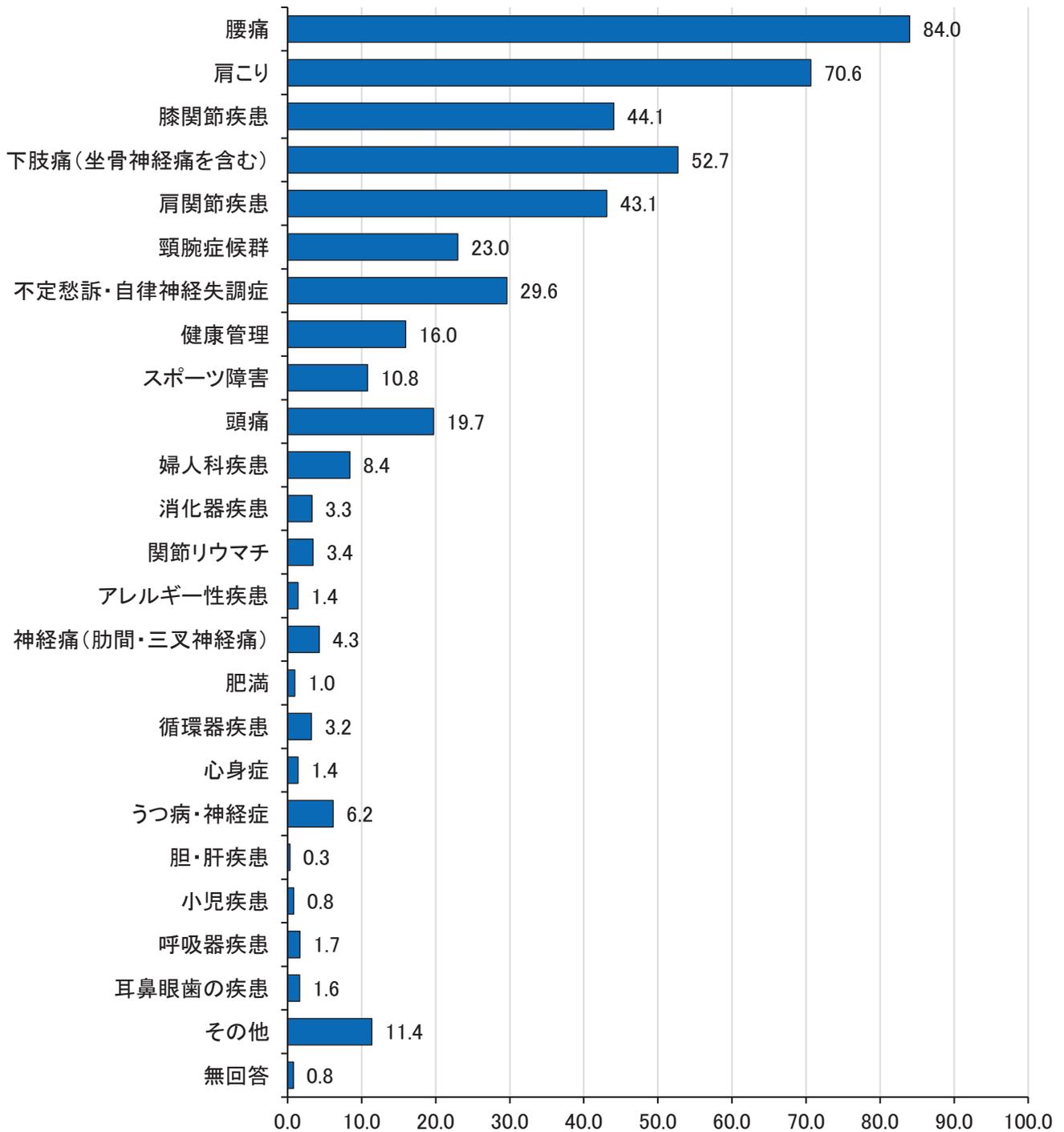


Q 8 報酬または給与 %



(13) 取扱患者の主な症状

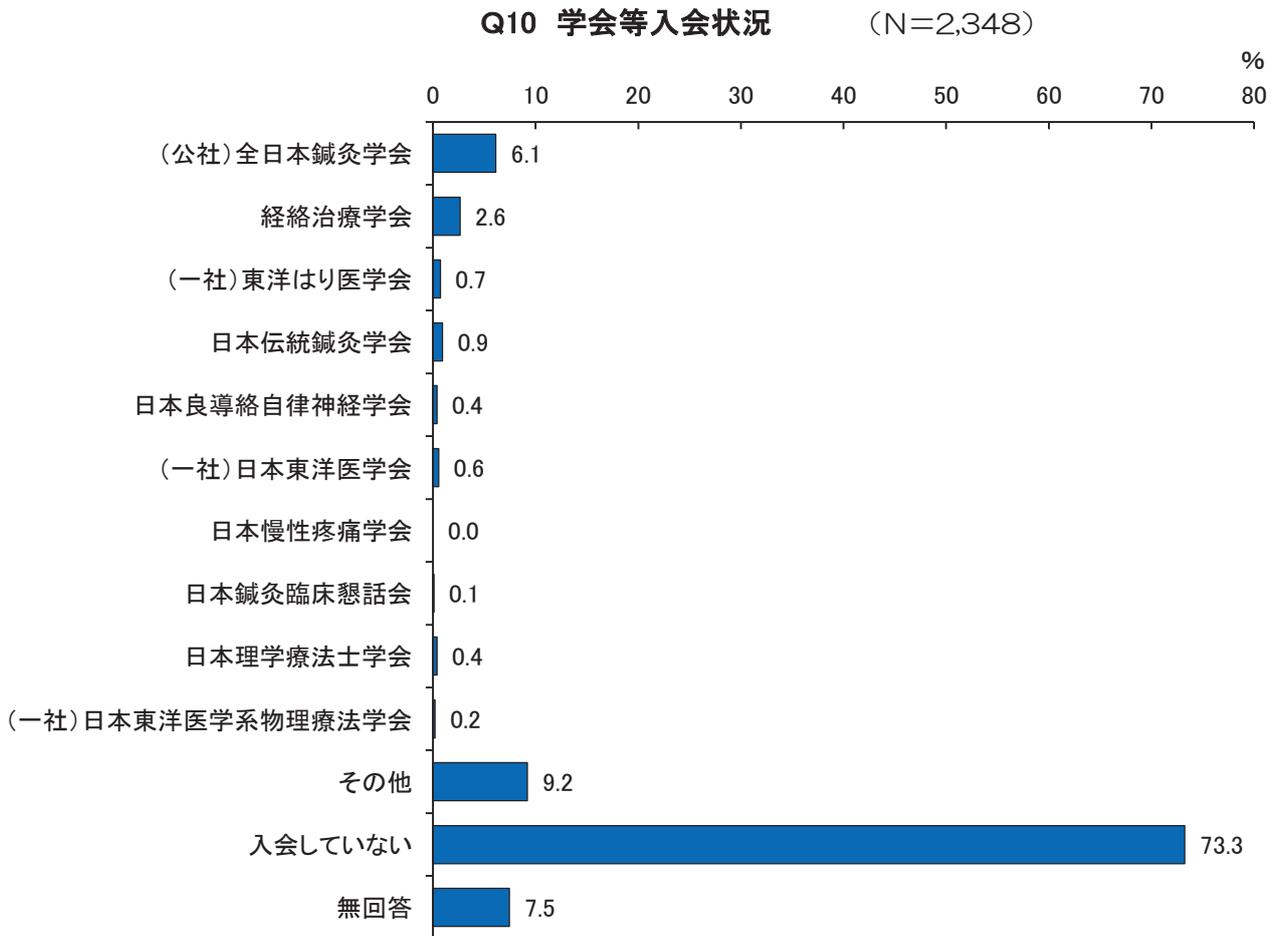
Q 9 取扱患者の主な症状（主な5つ） 複数回答 %



「腰痛」が84.0%、「肩こり」(70.6%)、「下肢痛(坐骨神経痛を含む)」(52.7%)が半数を超えて主な症状となっている。一方で「不定愁訴・自律神経失調症」が29.6%と過去最高の割合だった。

(14) 学会等の入会状況

Q10 学会等の入会状況 複数回答 % (N = 2,348)



全体としての学会の入会比率は、僅か 19.2%となった。主な学会としては、「全日本鍼灸学会」(6.1%)、「経絡治療学会」(2.6%)、「日本伝統鍼灸学会」(0.9%)となっている。なお、「入会していない」層の主な理由としては、以下ようになった。

入会していない主な理由 (件数)

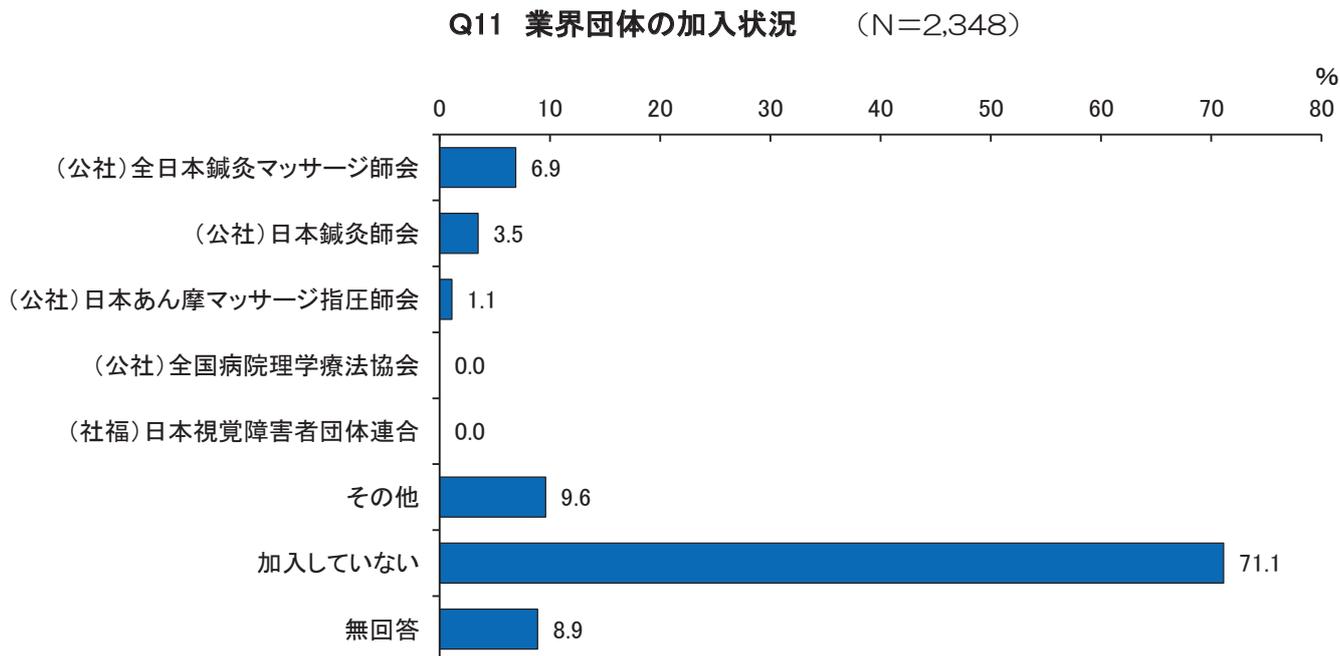
Q10-12 (上位10位)	
[N=1,720]	
130	必要無し(不要)/メリットない
69	よく知らない/分からない
67	会費高い/金銭的余裕ない
44	どこに入会したらいいか分からない
44	非従事/育児/学生/病気
41	検討中/悩み中
37	時間的余裕なし/多忙
28	コロナのため
23	機会/きっかけがない
21	興味無い/関心無し

Q10 学会等入会状況 複数回答 %

	N	(公社)全日本鍼灸学会	経絡治療学会	(一社)東洋はり医学会	日本伝統鍼灸学会	日本良導絡自律神経学会	(一社)日本東洋医学会	日本慢性疼痛学会	日本鍼灸臨床懇話会	日本理学療法士学会	(一社)日本東洋医学系物理療法学会	その他	入会していない	無回答	
全体	2,348	6.1	2.6	0.7	0.9	0.4	0.6	0.0	0.1	0.4	0.2	9.2	73.3	7.5	
課程名	アマ指師課程	260	1.5	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	63.5	6.9
	はり師・きゅう師課程	1,038	7.9	2.7	1.2	1.3	0.1	0.6	0.0	0.2	0.4	0.0	7.7	72.5	8.2
	アマ指師、はり師・きゅう師課程	949	5.6	3.5	0.5	0.7	0.6	0.4	0.0	0.0	0.5	0.5	5.6	77.0	6.5
性別	男性	999	6.1	2.3	0.5	0.5	0.6	0.7	0.0	0.0	0.5	0.0	9.3	74.0	7.0
	女性	1,217	6.0	2.6	0.8	1.3	0.2	0.5	0.0	0.2	0.2	0.4	9.3	73.1	7.6
年齢別	21～24歳	341	4.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	4.1	80.6	10.3
	25～29歳	429	4.4	0.7	0.0	0.2	0.2	0.7	0.0	0.0	0.2	0.0	4.4	84.1	4.9
	30～34歳	275	6.2	1.1	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.4	0.0	7.3	79.3	5.1
	35～39歳	265	7.5	1.5	0.8	0.8	0.8	0.4	0.0	0.0	0.8	0.4	7.9	75.5	5.3
	40～49歳	542	7.0	4.6	0.6	1.7	0.0	0.7	0.0	0.2	0.7	0.2	11.4	68.6	7.6
	50歳以上	484	7.2	4.3	2.5	2.1	0.8	0.6	0.0	0.2	0.2	0.4	16.3	59.3	10.1
免許種類	アマ指師	1,221	4.9	2.5	0.4	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.4	0.4	10.2	73.9	6.6
	はり師	1,950	7.0	3.1	0.8	1.1	0.4	0.5	0.0	0.1	0.4	0.3	7.0	75.1	6.7
	きゅう師	1,897	6.7	3.1	0.9	1.2	0.4	0.5	0.0	0.1	0.4	0.3	7.0	75.1	6.7
実務従事	有	1,918	121.0	53.0	14.0	19.0	9.0	11.0	0.0	1.0	4.0	4.0	182.0	1,422.0	113.0
	無	420	22.0	9.0	3.0	3.0	0.0	2.0	0.0	1.0	5.0	1.0	32.0	293.0	60.0
開設状況	アマ指施術所	63	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	25.4	60.3	9.5
	は・き施術所	271	12.2	5.9	1.8	3.3	0.4	0.7	0.0	0.4	0.4	0.0	13.3	59.8	7.0
	あ・は・き施術所	232	6.0	6.0	1.7	2.6	0.9	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	11.2	65.9	7.3
	あ・柔整施術所	4	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	は・き・柔整施術所	42	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	76.2	7.1
	あ・は・き柔整施術所	16	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	87.5	0.0
	勤務している	1,373	6.0	2.0	0.4	0.5	0.4	0.7	-	0.1	0.1	0.2	8.3	77.3	5.3

(15) 業界団体の加入状況

Q11 業界団体の加入状況 複数回答 % (N = 2,348)



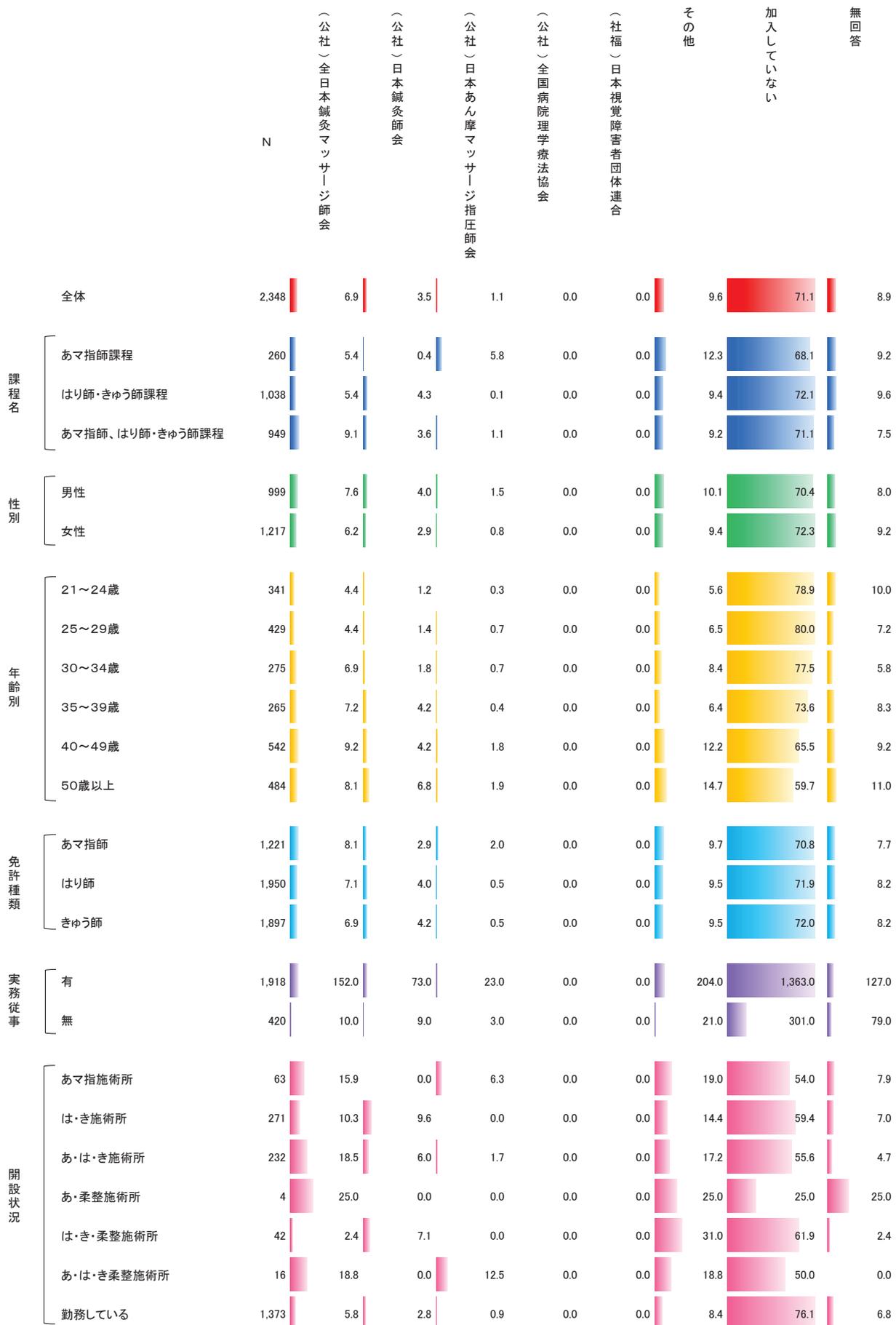
全体としての業界団体の加入率は 20.0% となった。主なものとしては、「全日本鍼灸マッサージ師会」(6.9%)、「日本鍼灸師会」(3.5%) となった。

加入していない層の「加入していない」理由としては、以下のようになった。

加入していない主な理由 (件数)

Q11-7 (上位10位)	
[N=1,670]	
144	必要無し(不要)/メリットない
77	会費高い/金銭的余裕ない
46	よく知らない/分からない
32	非従事/育児/学生/病気
31	検討中/悩み中
25	どこに入会したらいいか分からない
19	時間的余裕なし/多忙
14	機会/きっかけがない
13	興味無い/関心無し
7	コロナのため

Q11 業界団体の加入状況 複数回答 %



# ご あ い さ つ

(アンケート調査のお願い)

拝啓 あはき養成施設の卒業生の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。

このたび、当学校協会では、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の養成施設（学校）を卒業後国家試験に合格され、どのような進路及び社会的な活動の場を選ばれたかについて、平成8年から5年ごとにアンケート調査を行ってきておりますが、本年度第6回目のアンケート調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本調査は、卒業生の皆様から幅広く効率的に意見の収集を行い、活動の実態を把握することで、皆様に役立つ情報の提供や学会、業界への期待に応えるための基礎資料作成を目的として今回も調査を企画いたしました。

大変お忙しい中、誠に恐縮に存じますが、当協会として今後の養成施設（学校）への提言などとして取りまとめ、後輩の方々の教育向上に役立てることを目的としておりますので、何卒ご協力賜わりたくお願い申し上げます。

なお、この調査でお答えいただいた内容に関しては、原データを、数字データとして全て統計的に処理されます。プライバシーの保護については万全を期しますので、個人が特定されることなどは一切ございません。ご安心していただき、ありのままのご回答をお寄せ下さいますよう重ねてお願いいたします。

また、調査期日は令和3年10月1日（金）とし、提出期限は同年10月15日（金）までに、返信用封筒に同封のうえ、期限厳守にて当学校協会へご返送お願いいたします。

調査の公表は、後日、当学校協会の広報誌「会報」及びホームページにて発表することにしておりますのでご了承の程お願い申し上げます。

敬具

令和3年9月吉日

<調査実施機関>

公益社団法人 東洋療法学校協会

会長 清水 尚道





第6回 「あん摩マッサージ指圧師、はり師及び  
きゅう師免許取得の進路状況アンケート調査」  
報告書（要約版）  
（2021年10月実施）

発行 公益社団法人 東洋療法学校協会  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9  
第一長谷川ビル4F  
電話 東京 (03) 3432-0258  
FAX 東京 (03) 3432-0263  
<https://www.toyoryoho.or.jp>

印刷 株式会社外為印刷

無断転載・複製を禁じます。

